

農林水産物や食品の輸出に チャレンジしてみませんか？

農林水産省では農林水産物・食品の輸出に関する全般的な相談への窓口を設置しています。

輸出したいけど何から始めればいいのか？



- 農水省輸出・国際局輸出支援課（輸出相談窓口） 03-6744-7185
<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/soudanmado.html>
- 九州農政局経営・事業支援部輸出促進課 096-300-6381
- 九州農政局宮崎県拠点地方参事官室輸出促進担当 0985-24-2365

農林水産省が
診断・サポート
します。

2018年8月31日に農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等のサポートと連携を図る「GFPコミュニティサイト」を立ち上げました。当該サイトに登録した事業者には、農林水産省が「輸出の可能性」を診断し、サポートを行います。



GFPとは、Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Projectの略称で、農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品輸出プロジェクトのことです。

● 詳しくは、GFP事務局HP を !! (<https://www.gfp1.maff.go.jp>)

宮崎県拠点WEBサイトに、輸出に関するページを新設しました。

宮崎県拠点の
トップページはこちら [クリック！](#)

宮崎県内で輸出に取り組む優良な事例をご紹介します。



宮崎県内関係機関のご案内

- 宮崎県農業流通ブランド課
(農産物関係)
(TEL)0985-26-7126
- 宮崎県国際・経済交流課
(加工食品関係)
(TEL)0985-26-7113
- JETRO宮崎
(貿易実務、商談、マッチング)
(TEL)0985-61-4260
- 日本政策金融公庫宮崎支店
(農林水産物・食品輸出基盤強化資金等の融資)
(TEL)0985-29-6811

「地域と共に 『ここでしか作れないもの』を世界へ」

株式会社杉本商店

高千穂町の（株）杉本商店は、1954年の創業以来、干しいたけ専門問屋として稼働。クヌギの原木で自然栽培されたしいたけを生産者約600軒から入荷。

生産者から仕入れた乾しいたけを国内販売をしてきたが、人口減少・食生活の変化で国内市場は縮減傾向の中で、販路拡大が不可欠であると考え輸出への取組を推進。

海外でしいたけを使っている人はいるが、店頭に並んでいないので探している状態だったので、通販サイトを活用した販売を開始し売上が増加した。

今後はZ世代への対応が課題。インターネット等で情報発信し販路拡大を推進。



海外展示会



※詳しい輸出取組はホームページをご覧ください。

宮崎県拠点地方参事官室

TEL 0985-24-2365

本紙の記載内容等についてのご質問、農政に関すること、事業や制度への質問・ご意見等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

(〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17)

